

- 問1 約1万年以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)

1. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた

2. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した

3. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた

4. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された
- 問2 縄文時代の遺跡から発見される、人間を模した土製品（土偶）に関する記述として、当時の人々の暮らしや考え方を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 亡くなった豪族の権威を示すため、巨大な墓の周辺に副葬品として配置された

2. 米作りの儀式において、神の依代として用いられた青銅製の道具である

3. 定住生活が始まったことで、集落の入り口に魔除けとして立てられた石像である

4. 自然の恵みや生命の誕生を願う、当時の人々の切実な信仰心に基づき製作された
- 問3 日本の北方に位置する地域に古くから居住する先住民族と、その文化に関する記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)

1. 沖縄などの南西諸島を中心に独自の王国を築き、中国や東南アジアとの中継貿易によって繁栄した。

2. 北海道や千島列島などを主な居住範囲とし、シリエトク（知床）などの地名の由来にもなっている独自の言語を持つ。

3. 古代に朝鮮半島や中国大陸から移住し、日本列島に稲作や青銅器・鉄器などの進んだ技術を伝えた。

4. 平安時代以前に東北地方に住み、朝廷の支配拡大に対して抵抗を続けたことで「蝦夷（えみし）」と呼ばれた。
- 問4 山形県舟形町で出土し、高さが約45cmあり国宝にも指定されている「縄文の女神」について述べた文として、歴史的な事実に基づいた正しい説明を選びなさい。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 弥生時代の遺跡から発見された青銅器であり、大陸との交流を示す資料である。

2. 飛鳥時代に大陸から伝わった仏教の影響を受けて作られた、初期の仏像である。

3. 古墳の周囲に並べられた埴輪の一種であり、武人や馬の形をしたものが多い。

4. 縄文時代中期に作られた土偶であり、当時の人々の信仰や祈りの対象であった。
- 問5 縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 食料を保存したり、煮炊きを行うための日常的な容器として作られた

2. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式的道具として作られた

3. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた

4. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた
- 問6 縄文時代の遺跡からは、女性をかたどったとされる土偶など、当時の精神文化を反映した遺物が多く発見されています。これらの遺物が作られた目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)

1. 大陸との交易において、有力者が自分の富や権力を誇示するために作られた

2. 自然の恵みに感謝し、食べ物の豊かさや安産などを祈るために作られた

3. 稲作が普及し、収穫した米を保存するためのまじないとして作られた

4. 身分の高い人物が亡くなった際、その墓である古墳に副葬品として納めるために作られた
- 問7 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 吉野ヶ里遺跡 — 弥生時代

2. 三内丸山遺跡 — 弥生時代

3. 三内丸山遺跡 — 縄文時代

4. 登呂遺跡 — 弥生時代
- 問8 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)

1. 蝦夷（えみし）

2. アイヌ民族

3. 渡来人

4. 琉球民族
- 問9 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 埴輪 — 亡くなった王の権威を示し、供養するため

2. 土偶 — 豊かな収穫や安産を祈るため

3. 勾玉 — 魔除けや身分を示す装飾品とするため

4. 銅鐸 — 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため
- 問10 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 岩宿遺跡

2. 三内丸山遺跡

3. 吉野ヶ里遺跡

4. 登呂遺跡
- 問11 三内丸山遺跡の調査結果から推測される、縄文文化の生活や社会の様子について正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 大陸から青銅器や鉄器が伝わり、武器や祭具として使用されることで集落間の争いが激化した。

2. 豊かな自然環境を背景に、狩猟・採集・漁労を行いながら大規模な定住生活を営んでいた。

3. 前方後円墳などの巨大な墳墓が築かれ、広域を支配する強力な王権が誕生していた。

4. 大規模な灌漑設備を用いた水田稲作が普及し、食料を蓄えるための高床倉庫が主流となった。
- 問12 山形県の西ノ前遺跡から出土した、その美しい造形から「縄文の女神」として国宝に指定されている土製品についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 飛鳥時代の寺院跡から出土した仏像の原型であり、鎮護国家の思想を反映している。

2. 弥生時代の遺跡から見つかった土偶であり、大陸から伝わった稲作の成功を祈るために使われた。

3. 古墳時代の古墳の頂上付近から発見された埴輪であり、葬られた有力者の権威を示している。

4. 縄文時代に作られた土偶の一種であり、当時の人々の祈りや願いが込められている。
- 問13 縄文時代の始まりにおける自然環境の変化と、それに対応した食料資源の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

1. 気候の温暖化によって広葉樹の森が広がり、ドングリなどの木の実やシカ、イノシシなどが豊富になった

2. 海面の上昇によって沿岸部が失われたため、人々は内陸の山岳地帯に移動して大型動物の狩猟のみに専念した

3. 気候の寒冷化にともなって針葉樹林が発達し、マンモスやナウマンゾウなどの大型動物が主な食料となった

4. 乾燥した気候に変化したことで草原が広がり、それまで行われていた採集に代わって家畜の放牧が始まった